

## 「出会い」

四国学生卓球連盟 副幹事長 宇都宮真弥

この度は、第18回「日学連アゴラ」に文章を掲載していただけることに、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

私は卓球を通して多くの人に出会うことができました。高校時代にはいろいろな地方へ遠征に行き、高い目標を持つ方々と練習させていただき、全国で活躍する多くの選手を知ることができました。

大学生になってからは大会を支える役員として多くの卓球関係者の方と関わらせていただきました。これまで大会運営の経験があまりなく、当初は運営側の大変さを考えることがあまりありませんでした。しかし、いざ自分がやってみるとやらなければならないことは非常に多く、常に気を配っていなければならない状況に大変さを感じることもありました。分からないことも多く、戸惑うこともありましたが、先輩や詳しい方に尋ねた際には優しく丁寧にフォローしていただきました。また、四国地方の選手の方にもご協力いただき運営を行うことができます。

全国大会関連では他地域の学連の方との交流もできました。地域は違っても、同じ仕事をしているため、運営の仕方を参考にさせていただくこともありました。

このように、たくさんの方の暖かい人達に囲まれて学連の仕事ができていると日々実感しています。これからも、関わっていただいている全ての方との出会いを大切に感謝の気持ちを持って取り組んでいきたいと思えます。

最後までお読みいただきありがとうございました。